

研究施設昭和54年度報告

I 運営会議

6月12日、第1回運営委員会、於学部第二会議室、昭和53年度事業報告、決算報告、昭和54年度事業案、予算案につき討議承認。出席者施設長羽田、運営委員堀井、小林(詢)、鈴木(良)、岩井、松沢、高野、竹内、山口、田中、布谷、中村、施設員渡辺、赤羽、事務局武井、勝野、山田(順不同、敬称略)。

10月5日、第2回運営委員会、於志賀施設演習室、施設宿泊者利用心得の改正、冬季間の附帯使用料改正、昭和56年度施設概算要求等につき討議承認。概算要求に関するかやの平分室建設予定地の視察。出席者施設長羽田、運営委員堀井、吉岡、松沢、高野、竹内、山口、田巻、布谷、中村、施設員渡辺、事務局水崎、武井、勝野、山田、高橋、松崎(順不同、敬称略)。

II 施設管理

展示館開館5月1日、閉館11月24日の間毎日、屋根のペンキぬりかえを8月に行なった。ロックガーデンの高山植物植えかえを一部行なった。その後の生育状況は良好、自然観察路は6月より11月まで質問板、説明板を設置した。階段、木橋の破損箇所の修理を行なった。

III 印刷物

施設案内のパンフレットは10000部印刷、展示館入口で配布。研究業績第17号は800部印刷、各方面へ配布。質問板解説パンフレット、園内植物リストを手書き印刷し、希望者に配布。長池の四季を5月より11月まで8回発行、各号300部ずつ手書き印刷し、地元旅館・寮並びに一般希望者に配布。

IV 自然探勝会、説明会

長池周辺の説明会、7、8月午前10時より約1時間、毎日行なう。希望者を集めて自然解説。7月に696名、8月に503名、合計1199名が説明を受けた。

小・中・高校生の修学旅行、林間学校の増加にともない、団体申込による自然解説は5~7月に9団体、1905名。また、夜間出張講演は7月に2団体、300名。

志賀高原観光協会より依頼された自然探勝会は8月に5回、174名が説明を聞いた。その他一般、団体の随時申込みによる自然解説は5~10月に16件あり702名が説明を聞いている。以上全合計は4480名になり、この種の説明を要望する傾向が高まっていると解せられる。

V 合宿研修、自然教育実習

昭和54年度教育養成課程学生合宿研修は二年次生全員について6月26日より8月31日まで、10班にわかれ、各班3泊4日の日程で行なわれ、この中に当施設の自然教育実習を含めた。参加学生305名、教官26名。35ページのテキストを作製し、全員に配布した。

昭和54年度理科教材研究単位取得学生の志賀自然教育実習は、三年次生以上で未終了のものにつき10月8・9日に1泊2日で実施した。終了学生23名。35ページのテキストを作製、配布。

VI 大学公開講座

大学公開講座「自然保護」は2回行なった。第1回は8月1~4日、3泊4日で、1名受講。第2回は10月8~14日、8~12日の5日は夜間講義を長野市、教育学部で行ない13、14日の1泊2日を志賀施設で行なった。8名受講。

Ⅶ 施設利用状況

宿泊施設の利用者は、のべ2299名。このうち学部関係利用者数は、のべ1464名である。6月から9月（夏期）までの利用者は、のべ1377名、10月から3月（冬期）の利用者は、のべ922名である。施設の主な利用目的と利用者を、表1に示す。

展示館、自然観察路の利用状況は、展示館入口に記入名簿をおいて調査した。これにもとづき表2、3、4を作製した。記帳した参観者の総数は、20169名で、前年より6000名ほど減少した。めだった特徴としては、5・6月に多かった団体の参観（主として修学旅行）が半減した。これは、この時間がまだ残雪のために遊歩道などが十分に使用できず、団体の参観に有効でないことが原因と考えられる。一方、10月の紅葉シーズンの参観者が急増した。なお、記帳の状況を見ると、参観者の3分の1～4分の1の人が記帳していると考えられる。したがって、全参観者数は、8万名を越えると推定される。

表1

施設の主な利用目的と利用者		
(一般研究・研修)		
6月4—5日	森林動植物の分類と生態の実習	信州大学教育学部羽田健三 他24名
6月5—7日	おたの申す平の土壌調査	玉川大学農学部竹島征二 他6名
7月14—19日	生態学野外実習	東京都立大学理学部木村充 他15名
8月6—10日	統計力学の基本的問題に関する研究会	名古屋大学工学部中野藤生 他15名
8月9—11日	志賀高原の湖沼調査	信州大学繊維学部桜井善雄 他3名
8月18—20日	構造地質研究会	工業技術院地質調査所小玉喜三郎 他14名
9月8—13日	生態学実習	早稲田大学教育学部大島康行 他24名
10月13—14日	大学公開講座（自然保護）	宮岡隆子 他9名
10月20—22日	ブナ林の調査	早稲田大学教育学部大島康行 他6名
10月21—23日	おたの申す平における土壌調査	玉川大学農学部竹島征二 他5名
10月27—28日	学生会	信州大学教育学部松沢邦彦 他27名
3月1—3日	雪の観察	信州大学教育学部岩井邦中 他6名
3月22—23日	長野盆地周辺の第四系に関するシンポジウム	長野吉田高校戸隠分校宮下忠 他15名
3月24—26日	志賀高原池沼のプランクトン採集	信州大学理学部林秀剛 他17名
(教育学部学生実習)		
6月26—7月9日	合宿研修（学生129名，教官10名）	
7月21—30日	〃（学生82名，教官8名）	
8月22—31日	〃（学生95名，教官7名）	
10月8—9日	理科教材志賀実習	24名
(卒論研究)		
7月11—14日	志賀高原の霧の調査	信州大学教育学部理科地学 藤井洋志
(常時利用者)		
	I B P実験室利用	信州大学教育学部 岩井邦中
	低温室利用	〃 入来義彦

表2 来館団体の種類

	県 外		県 内		計	
	団体数(%)	人 数 (%)	団体数(%)	人 数 (%)	団体数(%)	人 数 (%)
小 学 校	28(13.9)	1,991(14.6)	3(42.9)	226(36.9)	31(14.9)	2,217(15.6)
中 学 校	50(24.9)	6,849(50.2)	1(14.3)	303(49.5)	51(24.5)	7,152(50.2)
高 等 学 校	44(21.9)	2,736(20.1)	1(14.3)	20(3.3)	45(21.6)	2,756(19.3)
大 学	32(15.9)	885(6.5)	1(14.3)	40(6.5)	33(15.9)	925(6.5)
一 般	47(23.4)	1,174(8.6)	1(14.3)	23(3.8)	48(23.1)	1,197(8.4)
計	201(100.0)	13,635(100.0)	7(100.1)	612(100.0)	208(100.0)	14,247(100.0)

表3 団体の県内外の比率(%)

	団 体					計
	小 学 校	中 学 校	高 等 学 校	大 学	一 般	
県 内	9.7	2.0	2.2	3.0	2.1	3.4
県 外	90.3	98.0	97.8	97.0	97.9	96.6

表4 月別参観者数

月	個 人 (%)	団 体		計
		団 体 数 (%)	人 数 (%)	
5	262(4.4)	16(7.7)	1,641(11.5)	1,903(9.4)
6	252(4.3)	15(7.2)	1,021(7.2)	1,273(6.3)
7	1,218(20.6)	91(43.8)	7,648(53.7)	8,866(44.0)
8	3,374(57.0)	48(23.1)	1,577(11.1)	4,951(24.5)
9	411(6.9)	23(11.1)	1,294(9.1)	1,705(8.5)
10	383(6.5)	15(7.2)	1,066(7.5)	1,449(7.2)
11	22(0.4)	0(0.0)	0(0.0)	22(0.1)
計	5,922(100.1)	208(100.1)	14,247(100.1)	20,169(100.0)